



未来へつなぐ

Vol.
186

文／本間 吾里砂

十六駅で先行発売。記念入場券シリーズ「JR北海道ふるさと入場券」が登場！
硬券の観光入場券のイラストを復刻・再現したデザインが印象的

QRコードで購入 新たな記念入場券

JR北海道では六月一日より、道内各市町村の風景などがデザインされた「JR北海道ふるさと入場券」の発売を開始しました。これは、好評を博した「わがまちご当地入場券（二〇一七・二〇一九年）」や「北の大地の入場券（二〇二〇・二〇二四年）」に続く新たな記念入場券シリーズ。先行発売となった十六駅の入場券は、昭和後期から平成末期まで製造・販売していた硬券の観光入場券に描かれたイラストを復刻・再現したもので、販売価格は一枚三〇円（小児用の設定は無）となっています。

なお、入場券の購入に際しては、「JR北海道ふるさと入場券スターターキット」に封入されているQRコードが必要です。そのQRコードを発売駅に設置されている「指定席券売機」や「話せる券売機」にかざせば入場券を購入できる仕組み。入場券は、操作で七枚まで購入可能。

現時点の発売箇所は、倶知安駅、小樽駅、銭函駅、手稲駅、森林公園駅、岩見沢駅、滝川駅、追分駅、苫小牧駅、白老駅、登別駅、東室蘭駅、洞爺



特製スターターキット（イメージ）

入場券も保管できる 特製スターターキット

事前購入が必要なスターターキットは、北海道四季彩館各店とECサイト「北の特急便※」等で購入することができます。JR北海道の各駅では発売していないので注意が必要です。

スターターキットには、二〇二五年三月に運転を終了した特急「大雪」のヘッドマークをアレンジしたデザインが採用されており、厚さ二・五センチのボックス型となっているのが特徴。そこにQRコードを印刷した列車カード、さらに過去に発売した「わがまちご当地入場券」のポスターをデザインした特典カード二種のうち、いずれか一枚がランダムに封入されています。先行発売ではQRコードを印刷した列車カードは全部で十六駅分の十六種

類。「JR北海道 ふるさと入場券」は、二〇二八年三月三十一日までの発売を予定しています。

入場券の券面イメージ（小樽駅）と
印字イラストイメージ（銭函駅、滝川駅）